

大関のこども



坂井市立大関小学校

学校だより第30号

令和4年12月1日

HPアドレス



<http://www.ozeki.ed.jp>

♡ 縦割り班活動と異学年交流が、大きな心の成長に！

全校児童とボランティアの方々、みんなで楽しんだ「大関フェスティバル」！

11月29日（火）は、子どもたちが心待ちにしていた「大関フェスティバル」でした。今年は、6年生が決めた店の企画書をもとに、4～6年生が合同で協力して準備を進めました。開会式では、「大関フェスティバル準備の目標は苦楽しむことでした。その理由は、本番だけががんばるのではなく、準備から一生懸命楽しむことで、本番もっと楽しめると思ったからです。そして今日は、下の学年の手本になれるよう行動しながら楽しみたいです。」と、6年生代表児童の堂々としたあいさつがありました。約2時間半の異学年交流でしたが、子どもたちにとっては遊びを通して縦のつながりがより一層深まり、高学年としての自覚や未来の姿への憧れを抱くことのできた時間となりました。

【開会式】



【くもの巣から宝を取り戻せ!?】

【玉入れ】



【秋限定！文字探し】

【トレジャーハント】



【チームで合わせろ！意気投合ゲーム】

【めざせ エクセレントスロー】



【2分で見つけろ！宝探しゲーム】



日頃の感謝を伝えた「お礼の会」！読み聞かせボランティアの皆様や生け花クラブの講師

の先生もご招待しました。「お礼の会」では、児童代表が、読み聞かせや生け花クラブに楽しく取り組んでいることや、私たちのために色々考えてくださっていることへの感謝の気持ちを伝えました。ボランティアの方々からは「今日は、みなさんと楽しく汗をかきながら、とても楽しい時間をすごせました。」「みなさんからたくさんのエネルギーをもらいました。」など、うれしい感想をたくさんいただきました。



感想を言葉で伝え合った閉会式！本校では、普段から様々な機会を捉え、振り返りを言葉

で伝え合っています。閉会式の感想を伝え合う場面でも、たくさんの児童の手が挙がり、「大関フェスティバル」を終えた感想を思い思いの言葉で表現していました。最後は、企画から運営の全てに携わった6年生6名の代表が感想を述べました。どの6年生の言葉も、行事を終えた達成感や他学年への感謝の気持ち、そして、多くのことを学んだ「大関フェスティバル」だったことが伝わってくるものばかりでした。

